

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- 読むことの領域では、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて書かれている内容を理解できている児童が多い。朝読書や休み時間の読書など、本に触れる機会を推進してきたことの成果だと考えられる。
- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができていた。選択肢のある問題は、前後の文章から適切なものを選択できていた。

### 【課題】

- 読み取ったことを基に、自分の考えを文章にまとめることへの苦手意識が見られる。授業の中で自分の考えや思いを文章にまとめる活動に繰り返し取り組むことで、書くことへの抵抗感を軽減していきたい。
- 日常よく使われる敬語の理解に課題が見られる。国語の授業のみならず、日頃から様々な場面で相手に合わせた話し方を身に付けさせるようにしていきたい。

## 2 算数に関する調査

### 【特長】

- 変化と関係の領域では、伴って変わる二つの数量関係について、変化の特徴を読み取り、知りたい数を求めることができている児童が多い。
- 伴って変わる二つの数量関係が、正比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる児童が多い。

### 【課題】

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いて計算したりすることなど基礎基本の定着に課題が見られる。復習問題に取り組むなど、繰り返し学習することで定着を図り、粘り強く問題と向き合う意欲を育てていきたい。
- 図形の領域では、正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題に課題が見られた。目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか見通しを立てられるようにしていきたい。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対して「当てはまる」と回答した児童が多く、「どちらかといえば、当てはまる」を含めるとほぼ全員がいじめに対していけないことだという意識を高めていることが分かる。
- 人が困っているときは、進んで助けようと考えたり、人の役に立つ人間になりたいと思ったりしている児童の割合が高かった。優しく思いやりのある金田っ子の姿が見られた。

#### 【課題】

- 自分で計画を立てて家で勉強をしている児童が少なく、家庭での学習時間も少ないと回答した児童が多かった。家庭学習に進んで取り組めるような声かけをしていきたい。
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対して、できると回答した児童が少なかった。担任や学校カウンセラーなど、安心して相談ができる雰囲気作りに努めたい。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 国語や算数、外国語の学習を「大切だと思う」「役に立つ」と回答している児童は多いが、「勉強が好き」と回答している児童は少ない。特に算数では、いろいろな方法やもっと簡単に解く方法を考える活動を通じて、学習する楽しさを味わえる授業を心掛けたい。
- 学習の中で ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと考える児童が多い一方で、これまでに受けた授業の中で ICT 機器を使用していた頻度が、比較的少なかった。日々の授業の中での活用方法を学校全体で検討し、ICT 機器にふれる機会を増やしていきたい。
- 学習面で困難を抱えていると思われる児童に対し、個に応じた声掛けや支援を充実を図りたい。
- 本に親しみ、読書を習慣付けるため、朝読書など本を手取る時間を意識的に作る。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 家庭学習や読書について、お子さんが自分で学習の計画を立て取り組んだり、読書に親しんだりすることができるよう、ご協力をお願いします。
- 学校と共に、家庭や地域でも子どもたちのよい行いに対してほめる言葉をどんどんかけていてほしいです。また、困りごとや不安を抱えた際に相談できる雰囲気作りをし、安心して過ごせるように、ご協力をお願いします。
- 子どもたちに地域や社会をよくするために何をすべきかのイメージをもたせたいと思います。地域・学校・家庭の結びつきが深められるよう、引き続き、ご協力をお願いします。